

ランチタイム ミニコンサート

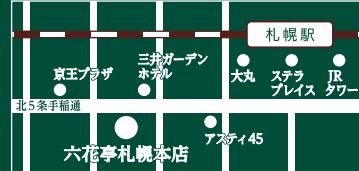
12:00-
12:45



お昼のひと時をクラシックを聞きながら過ごしませんか？
トークも交えての気軽なミニコンサートです。

当日、入場時(11:30開場)に10P頂きます。ポイントカードをご持参ください。

～・きのとうホール
札幌市中央区北4条西6丁目3-3
六花亭札幌本店 6階
札幌駅南口から徒歩5分。駐車場はございません。



Vol.21

2020年1月9日(木)

《出演》福田俊一郎、福田麻子(ヴァイオリン)

三又瑛子(ピアノ)

《曲目》

D.ショスタコーヴィチ：

2つのヴァイオリンとピアノの為の5つの小品

M.モシュコフスキイ：

2つのヴァイオリンとピアノの為の組曲 ト短調 Op.71

J.ハルヴォルセン：

2つのヴァイオリンの為のノルウェーの旋律による
演奏会用カプリース



Vol.22

2020年3月5日(木)

《出演》三上絵里香、佐野主間(ピアノ)

《曲目》

C.ドビュッシー：小組曲～小舟にて、バレエ(連弾)

A.スクリヤービン：

12のエチュード～ロ長調 Op.8-4

8つのエチュード～嬰ハ短調 Op.42-5(三上)

S.ラフマニノフ：

10のプレリュード～ニ長調 Op.23-4

ト短調 Op.23-5(佐野)

G.フォーレ：ドリー組曲 Op.56(連弾)

G.ガーシュイン：ラプソディー・イン・ブルー(連弾)



Profile

Vol.21



福田 俊一郎 Syunichiro Fukuda (ヴァイオリン)

1994年生まれ、3歳よりヴァイオリンを始める。第1回横浜国際音楽コンクール中学生の部第1位及びグランプリ受賞。第11回東京音楽コンクール弦楽部門第3位。第85回日本音楽コンクールヴァイオリン部門入選。2016旭川・ウィーン国際ヴァイオリンセミナーにおいて優秀賞に選ばれる。

これまでに、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン、東京・春・音楽祭、いしかわ・金沢風と緑の楽都音楽祭、霧島国際音楽祭、読売新聞主催新人演奏会など多数出演し、東京交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団などと共に演。

室内楽にも意欲的に取り組み、小澤国際室内楽アカデミー奥志賀、プロジェクトQ、ヴィオラスペースなどにおいて研鑽を積む。紀尾井ホール室内管弦楽団2017年度シーズン・メンバー。

公益財団法人青山財団奨学生。公益社団法人日本演奏連盟奨学生。2018年度「CHANEL Pygmalion Daysアーティスト」東京音楽大学、大学院を首席で卒業。小栗まち絵、大谷康子の各氏に師事。



福田 麻子 Asako Fukuda (ヴァイオリン)

1996年生まれ。神奈川県出身。2歳よりヴァイオリンを始める。第87回日本音楽コンクール第3位、第16回クロスター・シェーンタール国際ヴァイオリンコンクール(ドイツ)第2位及びバッハ賞、第63回全日本学生音楽コンクール全国大会第3位、その他受賞多数。ロームミュージックファンデーション主催の第27回京都・国際音楽学生フェスティバル、第89回読売新人演奏会、第30回Pacific Music Festivalに出演。東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団と共に演。

これまでに、明治安田生命クリエイティブ文化財団、公益財団法人青山音楽財団奨学生。

室内楽では、PMFオーケストラ、プロジェクトQ等に参加し、研鑽を積む。学内より奨学金を得て、交換留学生としてシベリウスアカデミーに留学。

東京音楽大学を首席で卒業、同大学院1年に特別特待奨学生として在学中。

これまでに、小栗まち絵、大谷康子、原田幸一郎、藤原浜雄、玉井菜採の各氏に師事。



三又 瑛子 Akiko Mimata (ピアノ)

仙台市出身。4歳よりピアノを始める。桐朋学園大学ピアノ科を首席で卒業。同大学卒業演奏会、室内楽演奏会に出演。第16回ABC新人コンサート、第78回読売新人演奏会に出演。2005~2007年、田崎悦子氏主催ピアノワークショップ「Joy of Music in ハケ岳」受講。2012年および2013年、日本音楽コンクールコンクール委員会特別賞(ヴァイオリン部門ピアノ伴奏)受賞。これまでに国内外の演奏家との共演をはじめ、文京華氏とのピアノデュオ「リブラー」としても活動。これまでに、ピアノを庄司美知子、加藤伸佳、田崎悦子、加藤洋之、室内楽を加藤知子、徳永二男の各氏に師事。桐朋学園大学弦楽部嘱託演奏員。石川ミュージックアカデミー、ミュージックアカデミーinみやざき、霧島国際音楽祭、などで公式伴奏者を務める、NPO法人ハマのJACKメンバー。

Vol.22



三上 紗里香 Erika Mikami (ピアノ)

札幌市出身。愛知県立芸術大学、同大学院を修了。

2012年よりドイツに渡り、ケルン音楽大学への交換留学を経て、ミュンヘン国立音楽大学修士課程現代音楽科及び同大学マイスタークラスの専門課程を首席で修了。2017年帰国。

第23回ハイメスコンクール第1位、2013年度ミュンヘンスタンウェイ賞を受賞。

2015年スティンウェイコンクール(ドイツ)第2位、2016年Musikpreis Kulturrat Gasteig (ドイツ) 第1位。

2017年イングルフ・トルパン(ヴァイオリン)とウェン＝シン・ヤン(チェロ)と三重協奏曲をミュンヘン放送管弦楽団と共に演。

札幌コンサートホール主催リスト音楽院セミナーを受講し最優秀受講生に選ばれ、ハンガリーの「ブダペスト春の音楽祭」にてソロリサイタルを行う。Kitaraで日演連新進演奏家リサイタルシリーズSAPPORO13~三上絵里香ピアノリサイタルを開催。

平成29年度札幌市芸術祭新人音楽会奨励賞を受賞。

これまでピアノを宮林直子、三角祥子、北島公彦、永野美佐子、ヴァディム・サハロフ、ヤコブ・ロイシュナー、ミヒャエル・シェーファー、作曲・ソルフェージュを若林千春、土田英介の各氏に師事。

現在、主に北海道でソロ・室内楽の演奏活動及び後進の指導を行う。

札幌大谷大学短期大学部非常勤講師、(株)エルム楽器特別レッスン講師、ハイメスアーティスト会員。



佐野 主闘 Shimon Sano (ピアノ)

札幌市出身。東京藝術大学、同大学院修士課程修了。

第55回全日本学生音楽コンクール中学の部全国大会出場。

第4回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA高校生の部 銅賞。

第1回ベルージャ音楽祭にてアリエ・ヴァルディ氏のマスタークラスを受講。アッシジの聖フランチェスコ大聖堂にてベルージャ管弦楽団と共に演。

第139回日演連新人コンサートに出演し、札幌交響楽団と共に演。

第11回ユージニア・ヴェルデ国際ピアノコンクール第2位。

東京藝術大学奏楽堂でのモーニングコンサートに出演し、藝大フィルハーモニーと共に演。

第6回、第11回ロシアン・ピアノスクールを受講し、選抜コンサートに出演。

これまで国内外にてセルゲイ・ドレン斯基ー、アンドレイ・ビサレフ、パーヴェル・ネルセシアン、ジャック・ルヴィエ、ベルント・ツック、海老彰子、メナヘム・プレスラー各氏の指導を受ける。

ピアノを浜田典子、北島公彦、植田克己、アサフ・ゾハー、室内楽を迫沼嘉、青柳晋、河野文昭、ソルフェージュを手島由美子、作曲を土田英介、歌曲伴奏を星野明子、声楽を佐藤金一の各氏に師事。

ソロはもとより、室内楽や歌曲伴奏において国内外のアーティストから高く評価されている。

また、音楽の楽しさと奥深さを共有するレッスンは好評で、ピアノを学ぶ人々に影響を与え続けている。

近年は、ブログ(毎日更新200日以上)・Twitter(フォロワー数3,800人)・YouTube(チャンネル登録者3,000人)など、インターネット上の活動も認知されている。